



精神医療サポートセンター

訪問看護ステーションいしづえ町田

管理者 精神科認定看護師/公認心理師 新田マリア

医療は長い間、創傷や病気を治し、命を救うことを第一の使命としてきました。例えば交通事故に遭い、傷跡や色素沈着が残ったとしても、それらが治癒し、一定程度機能面が回復したら「治療終了」とするのが一般的ではないでしょうか。がん治療においても、放射線や化学療法に伴って外見上の変化が生じたり、病変部分の切除後にはボディーイメージの変化が伴います。

社会復帰にあたり精神的な苦痛が伴ったとしても、それを解決する術はありませんでしたし、問題と捉える医療関係者も少数でした。

そこで筆者は、「外見ケアチーム」を設立し、以下の4本柱を軸に支援を展開してきました。

(詳細については医学書院より出版の精神看護2020.9月号をご参照ください)。

①カバーメイク講座/カバーメイク外来

病気による皮膚変色やアザ・母斑・血管腫・白斑・事故の傷跡など「色」や「質感」に関する事に対応

②ブレストケア

乳房疾患の外科的治療に伴う外見変化に対応。人工乳房や下着のコーディネート。

③シニアメイクイベント「イキイキ健康メイク」

高齢者の健康寿命延長と自立支援を目標に、地域包括等と協賛してイベントを実施。

④精神科デイケア「シンデレラ・メイクスクール」

精神疾患のある方へ、装うことを通じて社会的なつながりを育むこと、

精神的な健康度を向上することを目的としたプログラム。

筆者は現在、訪問看護ステーションを起業し地域へと活動の場を転換しています。上記の活動を可能な範囲で継続しつつ、より地域に根ざした“アピアランスセラピー”を提供して行きたいと考えています。

～美容を通じて心を元気にし、共に明かるい社会を創ります～

一般社団法人 日本アピアランスセラピー協会